

令和7年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 片渕卓三議員

2025年度の当初予算案の一般会計の総額は、前年比で32億円増えて316億4,000万円となり、過去最高となりました。最重要施策に、地震などの大規模災害に備える防災対策に加え、「子育て・教育」の待機児童対策や保育園の環境改善など、子育て支援施策に力を注ぐ予算となっております。

初めに、当初予算案は、前年に引き続き、特に「防災」に重点を置き、防災力向上に向けた事業費を多く盛り込んだ予算となっております。一連の防災関連予算については、能登半島地震以降の喫緊の課題として災害備蓄品用の大規模倉庫の新設、指定避難所として機能する中学校の体育館の空調設備の新設、保健福祉センターの空調設備改修工事の完了、指定避難所である公民館のトイレの洋式化等、市民の命を守る防災対策を拡充されていることを、最大の評価といたします。

また、「子育て・教育」では、待機児童解消に向けて、民間保育所の新設、第2子以降の保育所の無料化・軽減策、民間学童クラブ定員拡充支援、水泳授業民間プール活用校を全小学校に実施、給食費高騰分の公費負担軽減として、小中学校給食については、食材費高騰の影響を受けている小中学校の保護者の負担軽減をするために、公費負担を現在の1食40円から50円に増やし、事業費として6,277万円を計上いたしました。

公明党尾張旭市議団が推進をし、要望してきた政策が実現していることを、高く評価をいたします。これからも財源確保が厳しい状況が続きます。さらなる財源の創出を続けていただきたいと思います。

予算決算委員会等の質疑の中で、個別の事業について反対する御意見もありました。それらをもって、この予算案そのものに大きな影響があるとは考えておりません。

ただ、昨年も申し上げましたが、三郷駅前再開発事業は重点的な予算となっております。この事業の完了は延期になりました。現在も、資材高騰や人件費等で総工費が上がるのが懸念をされております。総工費抑制と透明性を図りながら、事業の推進をお願いしたいと思います。この三郷駅前開発につきましても、公明党尾張旭市議団としても苦言を申し上げますが、党として力強く応援をさせていただきたいと、ここで明言をしておきます。

最後になりますが、来年度も物価高騰が市民にとって厳しい環境となります。「誰一人取り残さない尾張旭市」、「誰もが住み続けられる尾張旭市」をつくるために、公明党尾張旭市議団として、令和7年度も市政発展のために全力で取り組むことを決意し、賛成討論といたします。